

# 我が学びや

令和6年6月11日  
白川小 学校便り No.4

文責:校長 村上剛史

## ◆6月は「心のきずなを深める月間」(全校集会講話より)

私が、教師になりたての頃、尊敬する先輩の先生から話してもらった言葉を紹介합니다。その言葉は、宮城まり子さんという人が書いた本に出てくる言葉だそうです。宮城まりさんは、歌手であり、映画監督もされていた方で、障害があるために学校に通えなかった人たちのために、自らお金を出して学校をつくった方です。

### 「やさしくね、やさしくね、やさしいことは強いのよ」

「やさしいことはつよい」とは、どういう意味でしょうか。みなさんは、「やさしくしなさい」とか「もう少しやさしくできんとね」とか言われたことはありますか。多分、誰でもあるでしょう。では、やさしくできないときってどんな時でしょう。

たとえば、友達と言い争いになったとき、思い通りにならなかったときは、どうでしょう。ついイライラして相手の嫌がることを言ったり、きつく当たったりしていませんか。他にも疲れているときや眠い時にも、やさしい言い方ややさしくできないことがありますね。そう考えると、いつでもやさしくすることは、結構難しいですね。

人は、自分の調子が良かったり何かいいことがあったりすると、やさしくする気持ちになります。でも、自分の体の調子や気分に関係なく、いつでも相手の気持ちになってやさしくしようとするには、自分の体の調子や気分に関係ない心の強さが必要になります。みなさんも心のどこかに、その強さを持っていてほしいと思います。

私も、きつい時や気分がすっきりしない時こそ、この言葉を自分に言い聞かせるようにしていきます。

## ◆自分たちの学校を 自分たちの手で！(大切にしたい白川小の宝)

自分たちの学校を自分たちの手でキラキラ輝く学校にしていく委員会活動が始まりました。各委員会とも、前年度の活動を振り返り、『もっとこうしたらいいんじゃないかな』と話し合いを重ね実践を開始しました。テレビで、南極越冬隊の方々には「継続は革新の積み重ね」をモットーに力を合わせ、日々工夫を重ねて活動なさっていることが放映されました。失敗を恐れず、力を合わせて積極的にチャレンジして委員会活動を充実させてほしいものです。



## ◆5・6年生の頑張りがあるからこそ…(プール掃除)

5月29日(水)1校時に5年生が、5・6校時には6年生がきれいに掃除をしてくれました。本校は、体育館の屋上にプールがありますので、体育館横からプールまでの階段も含め大変な作業ですが、力を合わせて取り組み、全校児童が気持ちよく水泳学習ができる環境を整えてくれました。5・6年生のみなさん、本当にありがとうございました。

みなさん、5・6年生への感謝の気持ちをもつとともに、みんなが使うプールを大切にするという気持ちを持ってください。4・5年生のみなさん、来年は頼みましたよ。

## ◆帽子をかぶりましょう！

朝から運動場で遊ぶ人、ボランティア掃除をする人、花の水やりをする人、虫探しをする人…、元気に体を動かしていますね。また、登下校時は、日差しも強くなり気温が高くなってきます。熱中症を防ぐためにも、外に出るときは必ず帽子を着用しましょう。